



明德中学校区小中一貫だより

呉市立明德小学校・明德中学校

令和8年3月2日

明德中学校区では、令和5・6年度、呉市教育委員会から「小中で創る『未来の学び』実践事業」の指定を受けて研究を推進した、「子どもが進める『めいとく・トライ』」の取組をさらに広げ、「見通す」「やってみる」「振り返る」取組を中心に、子どもがさまざまな学びや活動を、自己決定し、協働しながら進めることができるよう、研究を行ってきました。

研究主題のもと、「授業改善部会」と「つながり部会」2つの部会で、具体の子どもの姿として、現状や目標を確認し、その実現に向けた取組について協議しながら、取組を推進することができました。

子どもが学びの状況を把握し、進め方について試行錯誤するなど、自ら調整しながら進める学習



【研究主題】

自他を尊重し、自ら考え判断し、意欲的に自己を表現する子どもの育成
～子ども自らが「見通す」「やってみる」「振り返る」学びや活動を通して～



3学期の主な取組を紹介します。

【オープンスクール】

1月29日(木)、小学校第6学年を対象として、中学校のオープンスクールを実施しました。コロナ禍で中断しており、久しぶりの再開となりました。

まずは、小学生が中学校の雰囲気になれることができるよう、レクや長縄跳びを行いました。その後、中学校の伝統となっているダンス「音戸の舟唄」を、中学校第1・2学年の生徒が、小学生に教えました。



【小学生の感想から】

ていねいに細かく教えてくれてうれしかったです。中学生になったら、まだ習ってないところを練習したいです。

【中学生の感想から】

小学生がすぐ踊れるようになって、びっくりしました。いろいろなことが一緒にできて、楽しかったです。

【第3回研究部会・全体研修会】

1月7日(水)に、研究部会と全体研修会を行いました。

まず、それぞれの部会で、進捗状況の確認や今後の取組の検討を行いました。

全体研修会では、今年度、「めいとく・トライ」の中でも重点的に取り組んだ「振り返り」について、交流しました。発達段階に応じた取組の工夫や、それによって見られた子どもたちの成長を紹介し合いました。



【第4回研究部会】

2月4日(水)の研究部会では、各部会のテーマに照らして、子どもの姿、学力調査やアンケートの結果等をもとに、取組の成果と課題をまとめました。主体的な学びの姿が見られていること、異学年で学びを深める場面が設定できたこと、生活リズムを考える姿勢が育っていることなど、多くの成果が挙げられました。今後、家庭学習の時間や内容等、改善を図っていきたいことについて、研修を深めていきます。

いつも子どもたちや学校を応援して下さる、保護者、地域の皆様、本当にありがとうございます。来年度も、皆様とのつながりを大切にし、明德中学校区の教職員が力を尽くしてまいりますので、御協力の程、よろしくお願いいたします。